

**地方公共団体等における
火山防災訓練の企画・運営ガイド
(付録（様式）：訓練シナリオ及び状況付与票の様式)**

令和6年6月
内閣府（防災担当）

訓練シナリオ及び状況付与票の様式について

本資料は、訓練資料及び状況付与票の様式を通じて、訓練の流れをイメージできるよう、令和4年度に山梨県が主催した火山防災訓練※において、実際に使用した訓練資料及び状況付与票の様式を掲載したものです。

※内閣府のモデル事業として、山梨県と共同で図上演習の企画等を実施

■ 令和4年度 富士山火山防災訓練（山梨県）の概要

- 実施日時：令和4年10月18日（火）13時00分～17時00分
- 実施形態：県防災新館、富士吉田合同庁舎、各市町村庁舎（Webで各会場を接続）
- 主な訓練参加機関：山梨県、県内市町村、防災関係機関（Web参加）
- 訓練の形式：前提条件や進行管理者が付与した状況に応じ、参加者が、対策の検討・意思決定・連絡調整等の対処を行うロールプレイング形式の図上訓練
- 訓練の想定（火山活動の状況や必要となる対応）：
（前提条件）火山活動の変化を受け、火山の状況に関する解説情報等が発表される
（フェーズ1）令和4年10月9日（日）噴火警戒レベル3に引き上げ
（フェーズ2）令和4年10月10日（月）噴火警戒レベル4に引き上げ



【訓練実施中の様子】

様式① 訓練シナリオ（状況付与計画）

記載項目：区分、時間、付与先・付与元、付与方法、付与内容、ねらい、想定される対応 等

区分	時間	フェーズ	付与方法	付与内容	付与のねらい
指示	13:33	レベル3	紙	市町村の初動体制について情報収集をすること	情報班が班マニュアルや様式を用いて自主的に実施できるか。
問合せ	15:40	レベル4	電話	外部からの応援機関の連絡。国外の火山研究社3名が県の本部に入りたい。	対応窓口の確認、受け入れ先の調整、手配

様式② 状況付与票

記載項目：状況付与計画に記載の事項
使用方法：記載内容に基づき、訓練参加者（プレーヤー）が対応を検討、情報伝達等の対応をとる。

現在時刻：13:33
発信元：統括班長 → 発信先：情報班
内 容：市町村初動体制の把握

【指示】
市町村の初動体制について情報収集をすること。
・市町村本部設置状況
・市町村体制（職員・幹部参集）状況
・庁舎設備作動状況（連絡手段確認）
・避難状況

訓練のための補足情報
・班マニュアルや様式の活用
・ホワイトボード等への整理
・本部内への共有

自由メモ欄
自由メモ欄

【0000】付与方法：紙
情報班 3
噴火警戒レベル3

【0000】付与方法：電話
統括班 31
噴火警戒レベル3

訓練のための補足情報
・対応窓口の確認
・受け入れ先の調整、手配
・火山専門家（現地対策本部）に相談してもよい

自由メモ欄
自由メモ欄

様式①：富士山火山防災訓練における 訓練シナリオ（状況付与計画）

フェーズ1：噴火警戒レベル3に引き上げ（13:30～）

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
1	指示	13:30	レベル3	通信班	気象台	紙	気象庁電文の転送	噴火警戒レベル3の情報について、412会議室のFAXにより訓練参加市町村に転送すること。	火山電文は統制室にあるシステムにより自動転送されるものであるが、臨機に情報発信が行えるよう412会議室のFAXの操作に慣れる。	・訓練開始前に電文原稿と送付先を渡しておく。	・訓練中のFAX受信状況も通信班で確認する(実災害も同様)。
2	指示	13:33	レベル3	統括班長	統括部長	紙	各班の対応方針確認	「統括班長(防災危機管理課長)から、参集している各班長に就き対応方針の確認、各班の対応を確認すること」	対応開始直後、統括部の活動のコントロールを担う立場の統括班長は、参集している各班長に就き対応方針を確認し、状況により指示を行う。	※開始直後に班長を集めての方針伝達がないようであれば、統括班長に直接付与 ■関連付与【5番】:通信班に対しては、富士吉田合同庁舎のカメラ画像を412に映すよう指示。 ■関連付与【6番】【41番】:広報班に対しては、富士山の活動状況を広報するWEBページ開設と、市町村WEBページからもリンクしてもらえるよう指示。	
3	指示	13:33	レベル3	情報班	統括班長	紙	市町村初動体制の把握	市町村の初動体制について情報収集をすること。 ・市町村本部設置状況 ・市町村体制(職員・幹部参集)状況 ・庁舎設備作動状況(連絡手段確認) ・避難状況	・情報班が班マニュアルや様式を用いて自主的に実施できるか。 ・統括班長や統括部長から、情報収集に関する指示が出せるか。	・訓練開始直後に統括班長が班長を集めるなど、方針指示を出す場合は付与を保留。 ・情報班の動き出しを確認し、状況により付与。	・班マニュアルや様式の活用 ・ホワイトボード等への整理 ・本部内への共有
4	照会	13:35	レベル3	統括班長	統括部長	紙	現地対策本部の開設状況	現地対策本部の体制の確認。場所、幹部職員、必要な資機材の確保状況はどのようになっているか。	解説情報(臨時)の段階で、富士吉田合同庁舎からの移転を開始。 派遣人員(班編制)、指揮者の確認を行う。	・現地対策本部の開設人員の選定(所属、氏名まで決めてもらいたい) ・持ち込む資機材の確認(通信班にも確認) ・富士・東部地域県民センター(地方連絡本部)の職員も選定できるか。 ・開設職員=現地従事職員になることを想定する。	・派遣人員(班編制)、指揮者の選定 ・富士吉田合同庁舎(火山防災対策室)の動き出しタイミング等の確認
5	指示	13:35	レベル3	通信班	統括部長	紙	屋上カメラの設定	・富士吉田合同庁舎の屋上カメラで山体を映し、412会議室のモニターに流すこと。	統制室における操作手順、通信の仕組みを理解すること。※実動で実施	■【2番】に関連付与■ ※統括班長や通信班長から自発的な動きがないようであれば付与	・統制室の操作により実動で実施(平和通り側のモニターに映写)。 ・設営後、全体に共有。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
6	指示	13:35	レベル3	広報班	統括副部長	紙	報道対応の方針整理	・報道に対してはどの情報、どのタイミングで発信するのか、報道対応の方針について整理すること。 ・併せて、今後、知事メッセージを発出する段階、タイミングについても検討すること。 ・整理した方針については、統括副部長(防災局次長)に報告し、了解を得ること。		■【2番】に関連付与■	・報道対応方針の整理、責任者(広報統括を担う統括副部長)への確認 ・方針確認後は、報道発表用の情報を入手しながら、リリース準備を整えること。
7	指示	13:35	レベル3	県民相談班	統括班長	紙	災害時県民相談センターの設置	・県民からの問合せに対応するため、「災害時県民相談センター」を設置すること。	・NHK等、報道への投げ込みをどうするか。 ・今後の問合せに対応するため、班内の役割をどうするか。 ・ニュースで表示されたあと、問合せが殺到することに注意。	・対策を実施する班や、市町村の手を煩わせないように、できるだけ、県民相談班で止めることが重要。	・設置情報について、NHK等、報道へ投げ込みを行う手順の確認(窓口名、電話番号、どのような情報を受け付けるか。広報班と相談)。 ・今後殺到が予想される問合せへの対応方針、班内での役割調整。
8	課題	13:35	レベル3	県警	(運営からの課題)	紙	検討課題の例	・避難車両、防災応急対策車両の通行のための必要な措置の実施。 ・県、避難実施市町村と連携し、登山口等での入山規制 ・上空偵察(消防ヘリと調整) ・渋滞箇所等の交通誘導 ・警戒区域設定前の流入抑制(呼びかけ等)			・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ
9	課題	13:35	レベル3	自衛隊	(運営からの課題)	紙	検討課題の例	・入山規制時の下山者に対する呼びかけの要請対応(ヘリの手配は可能か)。 ・病院や消防本部からの避難車両手配の要請対応。			・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ
10	照会	13:40	レベル3	統括班	知事	紙	知事からの問合せ①	・秘書課(知事)から、噴火活動の状況と県の体制について報告の求めあり。	・災害対策本部体制の設置時期の確認。 ・統括部長と統括班長の意思決定の確認。	■付与【10番】【16番】は知事問合せ■ ・当該付与は統括班員の誰かに手渡しでよい。	・現時点の噴火活動と、警戒本部体制を回答。 ・その他、今後の推移と、知事参集となるタイミングを伝達。 ※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
11	指示	13:40	レベル3	情報班	市町村	電話	5合目残留者への広報	・富士吉田市です。5合目以上には、山小屋関係者等がいるため、入山している人への呼びかけを行いたい。 ・広報をお願いできないか。誰がどのように広報するか県本部で検討してもらいたい。	・情報班から航空調整班に要請が伝達されること。 ・県警ヘリや自衛隊ヘリとの調整を行い、運航を検討すること。	・情報班が、広報班あるいは統括班に伝達。この時期は世界遺産富士山課も5合目に不在。ヘリを手段として検討できるか。 ■類似要請あり。【11番】市町村→情報班、【33番】市町村→航空調整班、【39番】市町村→県警■	・要請を受けたのは情報班であるが、内容是对策を実施する班に、正確に伝達すること。
12	問合せ	13:40	レベル3	医療班	DMAT	紙	保健医療救護対策本部の設置	県立中央病院です。県保健医療救護対策本部の体制はどのようになりますか。リエゾンを派遣したいが、本館5階に行けばいいですか。	DMATとの調整。	■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■【23番】に他県DMAT受入れ■	・県災害警戒本部段階におけるDMATとの調整。 ・福祉保健部の体制はどうなるか、この時点でDMAT対応は可能か。
13	依頼	13:40	レベル3	土木班	統括班長	紙	県管理道路の対応の周知	・レベル3発表に伴い、入山規制の対応となる。 ・県管理道路(スバルラインを含む)の通行規制状況等の対応状況について、全体に周知いただきたい。 ・市町村に確認が必要な事項があれば、統括班を通して確認されたい。			・対応が必要となることが想定される道路について、統括班に共有すること。 ・市町村に確認が必要な事項は統括班を通して市町村に確認すること。 ・Zoomミーティングや防災システム(掲示板機能)を通じて全体に周知すること。
14	課題	13:40	レベル3	各市町村	(運営からの課題)	システム	今後想定される課題の整理	今後のレベルの引き上げや、噴火発生に備えた事前準備(避難所開設等)の実施。 (検討項目の例) ・住民広報について、内容や手段(首长メッセージ等)等の検討。 ・観光客(イベント状況把握)、別荘地、通勤者(休日稼働工場等)へ帰宅を呼びかける案内の実施検討。 ・避難行動要支援者対応(福祉避難所開設等)の準備。 ・避難所開設準備。等 ※検討項目ごとに対応記録用紙に整理。関係機関との調整が必要な場合には、訓練の中で確認すること。		※システム保存と同時にFAXも送信	・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
15	依頼	13:40	レベル3	甲府地区消防	(運営からの課題)	紙	消防機関の広域応援調整	・今後想定される広域応援体制(県外の消防本部の受入段階も含む)の検討、調整事項等の確認。			・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ
16	照会	13:45	レベル3	統括部長	知事	電話	知事からの問合せ②	「中間報告では、1次避難対象エリアは観光客も含めて避難となる。市町村は避難対応が始まるが、県は警戒本部のままで良いのか。県として必要な対応に間に合う体制が取れているのか。」 ※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。	・富士吉田市はレベル3で災害対策本部設置。 ・県として必要な対応が何で、それを実行するための体制ができていますのか整理する。 ・「避難対応の開始」という指摘に対し、対策本部体制では「避難対策班」があるが、参集させるのか、現在の体制で対応するのか。	■付与【10番】【16番】は知事問合せ■	・県として必要な対応が何で、それを実行するための体制ができていますのか整理(①県が行う対応のための体制、②市町村支援等の対外的対応のための体制)。 ・「避難対応の開始」という指摘に対し、対策本部体制では「避難対策班」があるが、参集させるのか、現在の体制で対応するのか
17	問合せ	13:45	レベル3	各市町村	住民	電話	住民からの問合せ	・〇〇(付与先)市町村の住民です。 ・テレビで富士山が噴火するかもしれないと言っている。 ・避難所は開設されるのか。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:15を回答の目安とする。	・レベル3段階における住民への情報の伝え方の検討。 ・同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか、併せて検討。 ・回答は、コントローラーに14:15までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
18	課題	13:45	レベル3	忍野村	(運営からの課題)	システム	レベル引き上げに備えた準備	・警戒レベルがさらに引き上げとなった際に、東富士五湖道路が閉鎖する可能性を考慮した県及び道路管理者との連携、連絡調整を検討。 ・大規模事業所の一斉避難による混乱の可能性を考慮した対応の検討。 ・レベル4以上への引き上げを想定した対応の準備。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、保存したことを電話で伝えること。	・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ ・対応記録用紙への記載でも可
19	依頼	13:50	レベル3	統括班	富士山研	紙	上空偵察の依頼	・富士山研から連絡あり。 「地震が多発している北側の山腹域周辺を今日か明日にヘリから上空視察したいが、ヘリの手配をお願いできないか。」	・航空調整班との上空偵察の調整。 ・他機関ヘリの動きの確認。		・航空調整班との上空偵察の調整(日時、天候、搭乗者、コース、ビックアップ) ・他機関ヘリの動きの確認

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
20	指示	13:50	レベル3	情報班	統括班長	紙	市町村の情報収集①	市町村の情報を収集すること。 ・市町村の体制 ・避難情報発令状況、避難所開設情報 ・県に対する要請、要望事項の確認 また、今後の情報収集における“とりまとめ時間”の設定(何時間おきとするのか)について、統括班と調整すること。	・市町村の対応状況を共有し、そこから統括部や関係機関による市町村支援の検討に結びつけられるか。 ・防災システムを活用できるか。 ・情報収集において、追加情報の確認や担当者交代を想定して、担当者名まで記録できるか。	(随時行うものであり、付与を行わないこともある)	★★必要に応じて付与★★ ・市町村の対応状況の共有と支援検討 ・防災システムの活用 ・情報収集方法の確認 ・とりまとめ時間の設定については、被害が発生している段階ではないことに留意。
21	指示	13:50	レベル3	通信班	統括班長	紙	現地対策本部の開設状況	・現地対策本部における通信手段の確認。手配。	・現地対策本部で使用する通信手段が何か確認する。 ・資機材を誰がどのように手配するか。	※統括班長が通信班に指示しているようであれば付与不要。	・現地対策本部で使用する通信手段が何か確認する。 ・資機材を誰がどのように手配するか。
22	問合せ	13:50	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	北麓地域の住民です。「テレビで言っているレベル3ってなんですか？」	一般的な問合せへの対応		・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。 ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。
23	問合せ	13:50	レベル3	医療班	DMAT	紙	県外支援DMATの進出の受入準備	・中部ブロックの他県DMATです。 ・山梨県への進出準備を進めますが、進出のタイミングと、参集拠点の指示があれば教えてほしい。		■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■【23番】に他県DMAT受入れ■	・受け入れ手順の確認。 ・回答は対応記録用紙への記載とする。 ・関係機関との調整が生じる場合には訓練の中で確認すること。
24	依頼	13:50	レベル3	都留市	統括班長	電話	流入自粛の呼び掛け	・県災害警戒本部です。 ・観光客等の富士五湖方面への流入自粛の呼び掛けに協力いただきたい。 ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。 ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。		■付与【24番】都留市、【25番】大月市、【26番】上野原市に同様の要請あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。	■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の対応要請あり■ ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
25	依頼	13:50	レベル3	大月市	統括班長	電話	流入自肅の呼び掛け	・県災害警戒本部です。 ・観光客等の富士五湖方面への流入自肅の呼び掛けに協力いただきたい。 ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。 ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。		■付与【24番】都留市、【25番】大月市、【26番】上野原市に同様の要請あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。	■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の対応要請あり■ ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。
26	依頼	13:50	レベル3	上野原市	統括班長	電話	流入自肅の呼び掛け	・県災害警戒本部です。 ・観光客等の富士五湖方面への流入自肅の呼び掛けに協力いただきたい。 ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。 ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。		■付与【24番】都留市、【25番】大月市、【26番】上野原市に同様の要請あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。	■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の対応要請あり■ ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。
27	問合せ	13:50	レベル3	山中湖村	住民	電話	別荘住民の帰宅対応	・別荘住民です。 ・富士山が噴火するかもしれないとテレビで報道しているが、別荘にとどまっても大丈夫か。 ・もし帰るとすれば、今後、通れなくなる道路はありますか。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:30を回答の目安とする。	・今後のレベル上昇も踏まえた帰宅対応(情報の伝え方) ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
28	問合せ	13:50	レベル3	富士河口湖町	業者	電話	イベント事業者との調整	・トレイルラン大会の運営者です。 ・現在継続中のトレイルランのイベントについて、中止等の要請はありますか。 ・参加者等への対応について、留意する点はありますか。		■付与【28番】富士河口湖町、【43番】山中湖村で各イベント主催者との調整あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:30を回答の目安とする。	・中止要請の可否判断 ・参加者に対する情報の伝え方 ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
29	依頼	13:55	レベル3	統括班	内閣府	電話	政府の体制確認	・内閣府防災担当です。 ・国では、火山災害現地連絡調整室を設置します。 ・県の体制、今後の会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。	・内閣府との連絡調整の体制確保。 ・体制が拡大した際の受援体制の確保。		・連絡調整の体制確保 ・今後に向けた受援体制の確保

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
30	依頼	13:55	レベル3	土木班	統括班長	紙	道路情報表示板を活用した広報支援	・道路利用者への広報について、広報班や市町村と連携してもらいたい。 ・道路情報表示板を活用した広報が可能か検討いただき、箇所などを整理いただきたい。			・表示内容について統括班や広報班に確認。 ・内容と表示場所について、全体に周知。
31	問合せ	14:00	レベル3	統括班	応援機関	電話	応援機関、研究者の受入	・外部からの応援機関の連絡。 ・防災科学技術研究所から8名 ・国内外の火山研究者5名 ・県の本部に入りたい。	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配	■付与【31番】と【57番】応援機関の受入要請■	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配 ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい
32	指示	14:00	レベル3	通信班	統括班長	紙	市町村との連絡体制確保	・情報班から市町村本部の体制を確認すること。 ・市町村との情報伝達手段について、確保・確認すること(防災行政無線、FAX等)		通信班が市町村に直接確認してもよい	・県本部、市町村本部、県現地对策本部の情報伝達手段の確認。 ・降灰時の影響を踏まえた通信手段の確保。 ・対応記録用紙に記載。必要に応じて各市町村と確認。
33	依頼	14:00	レベル3	航空調整班	市町村	紙	5合目以上への下山呼びかけ	・某市町村です。 ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者など、5合目以上に滞在している人もいる。 ・下山の呼びかけを行いたい、防災ヘリで広報は可能か。 ・県警にも同様の相談をしたいと考えている。		■類似要請あり。【11番】市町村→情報班、【33番】市町村→航空調整班、【39番】市町村→県警■	・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。 ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。 ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。
34	問合せ	14:00	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	西桂町の住民です。民放で、火山専門家の大学教授が、富士山の大规模噴火の可能性に言及している。どうしたらよいのか。	・市町村への問合せや、統括班等への負担を減らすため県民相談班で完結させること。 ・情報班に共有し、対応に役立てる。 ・広報班に共有し、県HPに掲載するなど、問合せを減らすための工夫につなげる。 ・市町村の避難情報に注意すること。 ・西桂であれば早くても溶岩流到達は6時間であることなど。	※その場で回答できない場合は折り返しの回答でも可。	・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・応対記録をシステムのクロノロジーに登録することで、全体への共有に有効。 ・デマ情報の拡散防止にも留意(広報班にも情報共有し、対応を検討)。 ・山麓以外の市町村であれば溶岩流到達には時間的な余裕があることにも留意(ハザードマップ確認)

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
35	指示	14:00	レベル3	医療班	統括班長	紙	病院避難支援	・病院避難支援(富士吉田市立病院)の対応について確認されたい。 ・車両による患者搬送支援が生じるのか、車両の手配はどうするのか。 ・航空搬送のためSCUを設置するのか。防災ヘリへの依頼の可能性はあるか。	レベル4に備えた体制の確保	■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■	・レベル4に備えた体制の確保。 ・富士吉田市や富士五湖消防本部等の関係機関に確認して検討すること。 ・検討結果は全体に共有すること。 ・対応記録にも記載すること。
36	問合せ	14:00	レベル3	富士吉田市	住民	電話	住民からの問合せ	・市内居住者です。 ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。 ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。 ・設置されているのであれば、場所を教えてください。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※その場で回答せず、関係機関と調整後に対応記録に記載すること。	・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。 ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。 ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。 ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。 ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
37	問合せ	14:00	レベル3	鳴沢村	住民	電話	住民からの問合せ	・村内居住者です。 ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。 ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。 ・設置されているのであれば、場所を教えてください。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※その場で回答せず、関係機関と調整後に対応記録に記載すること。	・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。 ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。 ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。 ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。 ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
38	問合せ	14:00	レベル3	富士河口湖町	住民	電話	住民からの問合せ	・町内居住者です。 ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。 ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。 ・設置されているのであれば、場所を教えてください。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※その場で回答せず、関係機関と調整後に対応記録に記載すること。	・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。 ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。 ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。 ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。 ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
39	依頼	14:00	レベル3	県警	市町村	紙	5合目以上への下山呼びかけ	・某市町村です。 ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者など、5合目以上に滞在している人もいる。 ・下山の呼びかけを行いたい、県警へリで広報は可能か。 ・航空隊にも同様の相談をしたいと考えている。		■類似要請あり。【11番】市町村→情報班、【33番】市町村→航空調整班、【39番】市町村→県警■	・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。 ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。 ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。
40	照会	14:05	レベル3	統括班	議員秘書	紙	国会議員からの問合せ	国会議員Aの秘書から、噴火活動の状況と県の体制について報告の求めあり。	・どのような情報をどのタイミングで誰が出すのか ・現段階では涉外対応班は不在。 ・会議後に公表資料を出すことで、負担を軽減。		・現時点の内容でコントローラーに回答(電話またはメモ提出)。 ・今後の同様の問いに備え、議員用に提供する内容の整理、タイミングについても検討すること。
41	依頼	14:10	レベル3	広報班	市町村	紙	県HPによる広報	某市町村です。 ・富士山の活動状況を広報するWEBページについて、県で開設してもらえるのか。 ・このページのリンクは、市町村HPに貼り付けるなどして、住民等に広報したい。	正式な情報を公表するページの閲覧を促すための方策を検討。	■付与【2番】に関連付与■	・検討結果は市町村(全体)に周知すること。 ・県公式HPだけでなく、その他の手段についても検討し、関係班と調整すること。
42	問合せ	14:10	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	北麓地域の住民です。「すぐに噴火するんですか」	・一般的な問合せへの対応		・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。 ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
43	問合せ	14:15	レベル3	山中湖村	業者	電話	イベント事業者との調整	・きららの音楽イベントの主催者です。 ・富士山の噴火に関する情報が出たと聞きました。 ・中止の要請はありますか。 ・参加者、関係者への情報提供等で留意点等ありますか。		■付与【28番】富士河口湖町、【43番】山中湖村で各イベント主催者との調整あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:50を回答の目安とする。	・中止要請の可否判断 ・参加者に対する情報の伝え方 ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
44	問合せ	14:20	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	北麓地域の住民です。「山頂から噴火して北麓全域に影響があるんですか？」	・一般的な問合せへの対応 ・デマ情報の拡散。⇒広報班に共有して公式情報を拡散させるなど対処(協議会、国、県の相互リンク等)	※その場で回答できない場合は折り返しの回答でも可。	・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・デマ情報の拡散防止にも留意(広報班にも情報共有し、対応を検討)。 ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。
45	問合せ	14:20	レベル3	富士河口湖町	住民	電話	酪農家からの問合せ	・富士ヶ嶺地区(第1次避難対象エリア)の酪農家です。 ・慌てて避難してしまったが、牛の様子を確認したい。 ・どこに許可を取ればよいのか。 ・すぐ近くだし、1時間で戻ってこれると思うので、見に行ってきた方が良い。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:50を回答の目安とする。	・一時的な立ち入りの可否判断 ・今後予想される類いの問い合わせに対する情報の伝え方 ・家畜避難に関する調整先の確認。 ・必ずしも明確な回答は求めない。今後の検討のためのヒントとする。 ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
46	指示	14:30	レベル3	広報班	統括副部長	紙	報道機関等の統制	・レベル3の発表、今後の火山活動の高まりから、海外を含めたメディアの殺到が予想される。 ・報道対応、統制について、検討された。			・世界的な知名度もあり、国内外からの多数メディアの殺到が予想される。 ・現地の統制、情報発信をどのように行うか(派遣人員、対応場所等)検討する。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
47	問合せ	14:30	レベル3	医療班	市町村	紙	福祉施設避難支援	・某市町村です(回答はコントローラーへ)。 ・管内の福祉施設の利用者の搬送支援は可能ですか。			・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。 ・回答はコントローラーへ行う。 ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。 ・実施できない場合も、全体共有すること。
48	問合せ	14:45	レベル3	医療班	市町村	紙	在宅要支援者避難支援	・某市町村です(回答はコントローラーへ)。 ・管内の在宅の避難行動要支援者に対する支援はありますか。			・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。 ・回答はコントローラーへ行う。 ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。 ・実施できない場合も、全体共有すること。

フェーズ2：噴火警戒レベル4に引き上げ（15:20～）

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
49	指示	15:23	レベル4	広報班	統括副部長	紙	知事メッセージの発信	- 対策本部設置に伴い、知事メッセージの発信を検討したい。 - 内容、発信手段の検討も行うこと。	- 統括班との内容調整。 - 発信手段等の確認。 - また、内容については、県HP、ツイッター、防災ポータル、アラート(お知らせ)でも発信できるよう手順等を確認すること。		- 統括班との内容調整 - 発信手段や手順等の確認
50	依頼	15:25	レベル4	統括班	内閣府	電話	政府の体制確認と受援体制の確立	- 内閣府防災担当です。 - 国では、火山災害現地警戒本部の設置に移行します。 - 県の体制、会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。 - また、「合同会議」の場も必要になるため、設置について検討してもらいたい。	- 受入場所の調整、確保(規模の確認) - 対応窓口の確認	【回答メモ】 - 政府現対は約30名。 - その他、総務省広域応援、知事会応援も20～30名想定。 ※その他の機関(参考) - 関係者に直接確認いただきたいが... - 消防応援活動調整本部、自衛隊(防衛省)、国交省等道路関係、気象庁支援チームが想定される。一プレイヤーに投げかけてもよい 「火山災害警戒合同会議」 国、関係自治体、火山専門家等 - 現地警戒本部設置場所に設置 - 以下の応急対策を調整し、合意形成に努める。 ①噴火兆候等の情報収集、分析 ②噴火活動の見通し ③避難行動必要時期、範囲 ④避難手段の確保 ⑤情報発信に関する事項	- 受入場所の調整、確保(規模の確認) - 対応窓口の確認 「合同会議」設置について、関係機関調整、開催場所等を検討。
51	問合せ	15:25	レベル4	医療班	(運営からの課題)	紙	保健医療救護対策本部の設置、体制確認	- 保健医療救護対策本部運営(搬送調整、拠点本部となる保健所の対応)、県災害対策本部との連絡調整について確認すること。 - 活動拠点の設置状況、EMIS入力等による情報通信手段について確認すること。			実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
52	依頼	15:30	レベル4	統括班	市町村	紙	降灰による域 外避難の打診	・某市町村です(回答は進行管理者へ)。 ・もし噴火したら短時間で降灰の影響を受けると予想されるため、市町村外に域外避難する調整を始めておきたい。避難先市町村を県に調整してもらいたい。	・確認すべき情報は何か。 ・噴火前の域外避難は必要か。 ・問合せ先に対し、どのように対応を促すか。	・降灰への備えは堅牢な建物への避難を促す。 ・不必要な避難を行う人がいる中で噴火が発生すると避難者を含めて滞留者の発生につながってしまう。	・噴火前の域外避難の必要性を検討。 ・必要に応じて火山専門家に相談。 ・問合せ先に対し、どのように対応を促すか(留意すべき事項がある場合、リスク等を示すこと)。 ・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。
53	指示	15:30	レベル4	情報班	統括班長	紙	市町村の情報 収集②	- 市町村の情報を収集すること。 ・市町村の体制 ・避難情報発令状況、避難所開設情報 ・県に対する要請、要望事項の確認	・市町村の対応状況を共有し、そこから統括部や関係機関による市町村支援の検討に結びつけられるか。 ・防災システムを活用できるか。 ・情報収集において、追加情報の確認や担当者交代を想定して、担当者名まで記録できるか。	(随時行うものであり、付与を行わないこともある)	★★必要に応じて付与★★ ・市町村の対応状況の共有と支援検討 ・防災システムの活用 ・情報収集方法の確認
54	問合せ	15:30	レベル4	西桂町	住民	電話	住民からの問 合せ	・桂川沿川の自治会長です。 ・噴火前に避難した方がよいのではないか。 ・避難所の開設時期はいつなのか。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※15:50を回答の目安とする。	・避難に関する情報の伝え方(同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか) ・回答は、コントローラーに15:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
55	依頼	15:30	レベル4	富士五湖消 防	市立病院	電話	患者搬送のため の避難車両 手配要請	・病院避難のため、患者搬送のための車両手配を要請したい。 ・担架搬送が必要な患者を5名です。		■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■	・搬送対応手順、調整先等の確認。 ・回答はコントローラーに行う。 ・関係機関に確認が必要な場合には、訓練の中で確認すること(県医務課、甲府消防等)。
56	指示	15:35	レベル4	情報班	統括班長	紙	道路状況の確認	・道路通行可否、交通規制状況の確認と本部内での共有を行うこと。	・情報班は、本部において、各機関への照会窓口を担う。必要な情報を各機関から取得し、本部内に共有できるか。 ・交通規制があった場合の迂回路の有無の確認。 ・代替公共交通機関等の確認。		・情報班は、本部において、各機関への照会窓口を担う。必要な情報を各機関から取得し、本部内に共有できるか。 ・交通規制があった場合の迂回路の有無の確認。 ・代替公共交通機関等の確認。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
57	問合せ	15:40	レベル4	統括班	応援機関	電話	応援機関、研究者の受入	外部からの応援機関の連絡。 ・国外の火山研究者3名 県の本部に入りたい。	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配	■付与【31番】と【57番】応援機関 の受入要請■	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配 ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい。 ・検討結果(回答)はコントローラーまで。
58	問合せ	15:40	レベル4	医療班	市町村	紙	医療器具等の手配	・某市町村です(回答はコントローラーへ) ・避難先における医薬品、医療機材の調達、医療従事者の派遣は可能ですか。			・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。 ・要請に対する具体的な検討を実施すること(外部機関との調整、県本部内の調整、いつの時点でどれくらいの規模で調達・派遣できるか)。

終了

様式②：富士山火山防災訓練における 状況付与票

現在時刻 : 13:30

発信元 : 気象台 → 発信先 : 通信班
(コントローラー)

内 容 : 気象庁電文の転送

【訓練】付与方法:紙

付与No.

通信班

1

噴火警戒レベル3

【指示】

噴火警戒レベル3の情報について、412会議室のFAXにより訓練参加市町村に転送すること。

訓練のための補足情報

・訓練中のFAX受信状況も通信班で確認する(実災害も同様)。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:33

【訓練】付与方法:紙

付与No.

発信元 : 統括部長 → 発信先 : 統括班長
(コントローラー)

統括班長

2

噴火警戒レベル3

内 容 : 各班の対応方針確認

訓練のための補足情報

【指示】

「統括班長(防災危機管理課長)から、参集している各班長に対し対応方針の確認、各班の対応を確認すること」

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:33

発信元：統括班長 → 発信先：情報班
(コントローラー)

内 容：市町村初動体制の把握

【訓練】付与方法：紙

付与No.

情報班

3

噴火警戒レベル3

【指示】

市町村の初動体制について情報収集をすること。

- ・市町村本部設置状況
- ・市町村体制(職員・幹部参集)状況
- ・庁舎設備作動状況(連絡手段確認)
- ・避難状況

訓練のための補足情報

- ・班マニュアルや様式の活用
- ・ホワイトボード等への整理
- ・本部内への共有

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

発信元 : 統括部長 (コントローラー) → 発信先 : 統括班長

内 容 : 現地対策本部の開設状況

【訓練】付与方法:紙

付与No.

統括班長

4

噴火警戒レベル3

【照会】

- ・現地対策本部の体制の確認。場所、幹部職員、必要な資機材の確保状況はどのようになっているか。

訓練のための補足情報

- ・派遣人員(班編制)、指揮者の選定
- ・富士吉田合同庁舎(火山防災対策室)の動き出しタイミング等の確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:35

発信元：統括部長 → 発信先：通信班

(コントローラー)

内 容：屋上カメラの設定

【訓練】付与方法：紙

付与No.

通信班5

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・富士吉田合同庁舎の屋上カメラで山体を映し、412会議室のモニターに流すこと。

訓練のための補足情報

- ・統制室の操作により実動で実施（平和通り側のモニターに映写）。
- ・設営後、全体に共有。

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻：13:35

発信元：統括副部長 → 発信先：広報班
(コントローラー)

内容：報道対応の方針整理

【訓練】付与方法：紙

付与No.

広報班

6

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・報道に対してはどの情報、どのタイミングで発信するのか、報道対応の方針について整理すること。
- ・併せて、今後、知事メッセージを発出する段階、タイミングについても検討すること。
- ・整理した方針については、統括副部長(防災局次長)に報告し、了解を得ること。

訓練のための補足情報

- ・報道対応方針の整理、責任者(広報統括を担う統括副部長)への確認
- ・方針確認後は、報道発表用の情報を入力しながら、リリース準備を整えること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

内 容 : 災害時県民相談センターの設置

【訓練】付与方法:紙

付与No.

県民相談班 7

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・県民からの問合せに対応するため、「災害時県民相談センター」を設置すること。

訓練のための補足情報

- ・設置情報について、NHK等、報道へ投げ込みを行う手順の確認(窓口名、電話番号、どのような情報を受け付けるか。広報班と相談)。
- ・今後殺到が予想される問合せへの対応方針、班内での役割調整。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 県警察

内 容 : 検討課題の例

【訓練】付与方法:紙

付与No.

県警察

8

噴火警戒レベル3

【課題】

- ・避難車両、防災応急対策車両の通行のための必要な措置の実施。
- ・県、避難実施市町村と連携し、登山口等での入山規制
- ・上空偵察(消防ヘリと調整)
- ・渋滞箇所等の交通誘導
- ・警戒区域設定前の流入抑制(呼びかけ等)

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

【訓練】付与方法:紙 付与No.

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 自衛隊

自衛隊	9
噴火警戒レベル3	

内 容 : 検討課題の例

【課題】

- ・入山規制時の下山者に対する呼びかけの要請対応(ヘリの手配は可能か)。
- ・病院や消防本部からの避難車両手配の要請対応。

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40

発信元 : 知事 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 知事からの問合せ①

【訓練】付与方法:紙付与No.

統括班	10
噴火警戒レベル3	

【照会】

・秘書課(知事)から、噴火活動の状況と県の体制について報告の求めあり。

訓練のための補足情報

- ・現時点の噴火活動と、警戒本部体制を回答。
 - ・その他、今後の推移と、知事参集となるタイミングを伝達。
- ※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40

発信元 : 市町村 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 入山者に対する下山の広報

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

情報班

11

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・富士吉田市です。5合目以上には、山小屋関係者等がいるため、入山している人への呼びかけを行いたい。
- ・広報をお願いできないか。誰がどのように広報するか県本部で検討してもらいたい。

訓練のための補足情報

・要請を受けたのは情報班であるが、内容は対策を実施する班に、正確に伝達すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40
発信元 : DMAT (コントローラー) → 発信先 : 医療班
内 容 : 保健医療救護対策本部の設置

【訓練】付与方法:紙付与No.

医療班	12
噴火警戒レベル3	

【問合せ】

・県立中央病院です。県保健医療救護対策本部の体制はどのようになりますか。リエゾンを派遣したいが、本館5階に行けばいいですか。

訓練のための補足情報

- ・県災害警戒本部段階におけるDMATとの調整。
- ・福祉保健部の体制はどうなるか、この時点でDMAT対応は可能か。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 土木班
(コントローラー)

内 容 : 県管理道路の対応の周知

【訓練】付与方法:紙

付与No.

土木班

13

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・レベル3発表に伴い、入山規制の対応となる。
- ・県管理道路(スバルラインを含む)の通行規制状況等の対応状況について、全体に周知いただきたい。
- ・市町村に確認が必要な事項があれば、統括班を通して確認されたい。

訓練のための補足情報

- ・対応が必要となることが想定される道路について、統括班に共有すること。
- ・市町村に確認が必要な事項は統括班を通して市町村に確認すること。
- ・Zoomミーティングや防災システム(掲示板機能)を通じて全体に周知すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:40

発信元：（運営からの課題） → 発信先：各市町村
（コントローラー）

内 容：今後想定される課題の整理

【訓練】付与方法：システム

付与No.

各市町村

14

噴火警戒レベル3

【課題】

今後のレベルの引き上げや、噴火発生に備えた事前準備（避難所開設等）の実施。

（検討項目の例）

- ・住民広報について、内容や手段（首長メッセージ等）等の検討。
- ・観光客（イベント状況把握）、別荘地、通勤者（休日稼働工場等）へ帰宅を呼びかける案内の実施検討。
- ・避難行動要支援者対応（福祉避難所開設等）の準備。
- ・避難所開設準備。等

※検討項目ごとに対応記録用紙に整理。関係機関との調整が必要な場合には、訓練の中で確認すること。

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・

（メモ記入者）

現在時刻 : 13:40

【訓練】付与方法:紙

付与No.

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 甲府地区消防
(コントローラー)

甲府地区消防 15

内 容 : 消防機関の広域応援調整

噴火警戒レベル3

訓練のための補足情報

【依頼】

- ・今後想定される広域応援体制(県外の消防本部の受入段階も含む)の検討、調整事項等の確認。

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:45

発信元：知事 → 発信先：統括部長
(コントローラー)

内容：知事からの問合せ②

【訓練】付与方法：電話

付与No.

統括部長

16

噴火警戒レベル3

【照会】

「中間報告では、1次避難対象エリアは観光客も含めて避難となる。市町村は避難対応が始まるが、県は警戒本部のままで良いのか。県として必要な対応に間に合う体制が取れているのか。」

※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。

訓練のための補足情報

- ・県として必要な対応が何で、それを実行するための体制ができているのか整理(①県が行う対応のための体制、②市町村支援等の対外的対応のための体制)。
- ・「避難対応の開始」という指摘に対し、対策本部体制では「避難対策班」があるが、参集させるのか、現在の体制で対応するのか

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:45

発信元 : 住民 → 発信先 : 各市町村
(コントローラー)

内 容 : 住民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

各市町村

17

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・〇〇(付与先)市町村の住民です。
- ・テレビで富士山が噴火するかもしれないと言っている。
- ・避難所は開設されるのか。

訓練のための補足情報

- ・レベル3段階における住民への情報の伝え方の検討。
- ・同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか、併せて検討。
- ・回答は、コントローラーに14:15までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:45

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 忍野村
(コントローラー)

内 容 : レベル引き上げに備えた準備

【訓練】付与方法:システム

付与No.

忍野村

18

噴火警戒レベル3

【課題】

- ・警戒レベルがさらに引き上げとなった際に、東富士五湖道路が閉鎖する可能性を考慮した県及び道路管理者との連携、連絡調整を検討。
- ・大規模事業所の一斉避難による混乱の可能性を考慮した対応の検討。
- ・レベル4以上への引き上げを想定した対応の準備。

訓練のための補足情報

- ・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ
- ・対応記録用紙への記載でも可

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50
発信元 : 富士山研 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)
内 容 : 上空偵察の依頼

【訓練】付与方法:紙付与No.

統括班	19
噴火警戒レベル3	

【依頼】

・富士山研から連絡あり。

「地震が多発している北側の山腹域周辺を
今日か明日にヘリから上空視察したいが、
ヘリの手配をお願いできないか。」

訓練のための補足情報

・航空調整班との上空偵察の調整
(日時、天候、搭乗者、コース、ピックアップ)
・他機関ヘリの動きの確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 市町村の情報収集①

【訓練】付与方法:紙

付与No.

情報班

20

噴火警戒レベル3

【指示】

市町村の情報を収集すること。

- ・市町村の体制
- ・避難情報発令状況、避難所開設情報
- ・県に対する要請、要望事項の確認

また、今後の情報収集における“とりまとめ時間”の設定(何時間おきとするのか)について、統括班と調整すること。

訓練のための補足情報

★★必要に応じて付与★★

- ・市町村の対応状況の共有と支援検討
- ・防災システムの活用
- ・情報収集方法の確認

・とりまとめ時間の設定については、被害が発生している段階ではないことに留意。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 通信班
(コントローラー)

内 容 : 現地対策本部の開設状況

【訓練】付与方法:紙

付与No.

通信班

21

噴火警戒レベル3

【確認】

- ・現地対策本部における通信手段の確認。手配。

訓練のための補足情報

- ・現地対策本部で使用する通信手段が何か確認する。
- ・資機材を誰がどのように手配するか。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

内 容 : 県民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

県民相談班 22

噴火警戒レベル3

【問合せ】

北麓地域の住民です。「テレビで言っている
レベル3ってなんですか？」

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。
- ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : DMAT → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 県外支援DMATの進出の受入準備

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

23

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・中部ブロックの他県DMATです。
- ・山梨県への進出準備を進めますが、進出のタイミングと、参集拠点の指示があれば教えてほしい。

訓練のための補足情報

- ・受け入れ手順の確認。
- ・回答は対応記録用紙への記載とする。
- ・関係機関との調整が生じる場合には訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:50

発信元：統括班長 → 発信先：都留市
(コントローラー)

内 容：流入自粛の呼び掛け

【訓練】付与方法：電話

付与No.

都留市

24

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・県災害警戒本部です。
- ・観光客等の富士五湖方面への流入自粛の呼び掛けに協力いただきたい。
- ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。
- ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。

訓練のための補足情報

■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の要請あり■
・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 大月市

(コントローラー)

内 容 : 流入自粛の呼び掛け

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

大月市

25

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・県災害警戒本部です。
- ・観光客等の富士五湖方面への流入自粛の呼び掛けに協力いただきたい。
- ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。
- ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。

訓練のための補足情報

■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の要請あり■
・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻：13:50

発信元：統括班長 → 発信先：上野原市
(コントローラー)

内 容：流入自粛の呼び掛け

【訓練】付与方法：電話

付与No.

上野原市

26

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・県災害警戒本部です。
- ・観光客等の富士五湖方面への流入自粛の呼び掛けに協力いただきたい。
- ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。
- ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。

訓練のための補足情報

■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の要請あり■
・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : 住民 → 発信先 : 山中湖村
(コントローラー)

内 容 : 別荘住民の帰宅対応

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

山中湖村

27

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・別荘住民です。
- ・富士山が噴火するかもしれないとテレビで報道しているが、別荘にとどまっても大丈夫か。
- ・もし帰るとすれば、今後、通れなくなる道路はありますか。

訓練のための補足情報

- ・今後のレベル上昇も踏まえた帰宅対応(情報の伝え方)
- ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 業者 → 発信先 : 富士河口湖町
(コントローラー)

富士河口湖町 28

噴火警戒レベル3

内 容 : イベント事業者との調整

訓練のための補足情報

- ・中止要請の可否判断(レベル3段階における観光客避難の考え方に留意)
- ・参加者に対する情報の伝え方
- ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

【問合せ】

- ・トレイルラン大会の運営者です。
- ・現在継続中のトレイルランのイベントについて、中止等の要請はありますか。
- ・参加者等への対応について、留意する点はありますか。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:55

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 内閣府 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

統括班

29

内 容 : 政府の体制確認

噴火警戒レベル3

訓練のための補足情報

- ・連絡調整の体制確保
- ・今後に向けた受援体制の確保

【依頼】

内閣府防災担当です。

- ・国では、火山災害現地連絡調整室を設置します。
- ・県の体制、今後の会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:55

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 土木班
(コントローラー)

内 容 : 道路情報表示板を活用した広報支援

【訓練】付与方法:紙

付与No.

土木班

30

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・道路利用者への広報について、広報班や市町村と連携してもらいたい。
- ・道路情報表示板を活用した広報が可能な検討いただき、箇所などを整理いただきたい。
- ・土木班を通じて、NEXCO中日本でも対応可能な、確認いただきたい。

訓練のための補足情報

- ・表示内容について統括班や広報班に確認。
- ・内容と表示場所について、全体に周知。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 応援機関 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 応援機関、研究者の受入

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

統括班

31

噴火警戒レベル3

【問合せ】

外部からの応援機関の連絡。

・防災科学技術研究所および産業技術総合研究所から8名
県の本部に入りたいとのこと。

訓練のための補足情報

- ・対応窓口の確認
- ・受け入れ先の調整、手配
- ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 通信班
(コントローラー)

内 容 : 市町村との連絡体制確保

【訓練】付与方法:紙

付与No.

通信班

32

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・情報班から市町村本部の体制を確認すること。
- ・市町村との情報伝達手段について、確保・確認すること(防災行政無線、FAX等)

訓練のための補足情報

- ・県本部、市町村本部、県現地対策本部の情報伝達手段の確認。
- ・降灰時の影響を踏まえた通信手段の確保。
- ・対応記録用紙に記載。必要に応じて各市町村と確認。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 市町村 → 発信先 : 航空調整班
(コントローラー)

内 容 : 5合目以上への下山呼びかけ

【訓練】付与方法:紙

付与No.

航空調整班 33

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・某市町村です。
- ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者など、5合目以上に滞在している人もいる。
- ・下山の呼びかけを行いたいが、防災ヘリで広報は可能か。
- ・県警にも同様の相談をしたいと考えている。

訓練のための補足情報

- ・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。
- ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。
- ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

内 容 : 県民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

県民相談班 34

噴火警戒レベル3

【問合せ】

西桂町の住民です。民放で、火山専門家の大学教授が、富士山の大規模噴火の可能性に言及している。どうしたらよいのか。

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・対応記録をシステムのクロノロジーに登録することで、全体への共有に有効。
- ・デマ情報の拡散防止にも留意（広報班にも情報共有し、対応を検討）。
- ・山麓以外の市町村であれば溶岩流到達には時間的な余裕があることにも留意（ハザードマップ確認）

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻 : 14:00

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 病院避難支援

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

35

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・病院避難支援(富士吉田市立病院、山梨赤十字病院)の対応について確認されたい。
- ・車両による患者搬送支援が生じるのか、車両の手配はどうするのか。
- ・航空搬送のためSCUを設置するのか。防災ヘリへの依頼の可能性はあるか。

訓練のための補足情報

- ・レベル4に備えた体制の確保。
- ・富士吉田市や富士五湖消防本部等の関係機関に確認して検討すること。
- ・検討結果は全体に共有すること。
- ・対応記録にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 住民 (コントローラー) → 発信先 : 富士吉田市

内 容 : 住民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

富士吉田市 36

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・市内居住者です。
- ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。
- ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。
- ・設置されているのであれば、場所を教えてください。

訓練のための補足情報

- ・入山規制の実施内容について、具体的（場所、時間、方法、実施者等）に検討すること。
- ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。
- ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。
- ・規制箇所の制限方法、実施者の検討（侵入者の抑止）。
- ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻 : 14:00

発信元 : 住民 (コントローラー) → 発信先 : 鳴沢村

内 容 : 住民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

鳴沢村

37

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・村内居住者です。
- ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。
- ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。
- ・設置されているのであれば、場所を教えてください。

訓練のための補足情報

- ・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。
- ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。
- ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。
- ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。
- ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 → 発信先 : 富士河口湖町
(コントローラー)

富士河口湖町 38

噴火警戒レベル3

内 容 : 住民からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・入山規制の実施内容について、具体的（場所、時間、方法、実施者等）に検討すること。
- ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。
- ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。
- ・規制箇所の制限方法、実施者の検討（侵入者の抑止）。
- ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

【問合せ】

- ・町内居住者です。
- ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。
- ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。
- ・設置されているのであれば、場所を教えてください。

現在時刻 : 14:00

発信元 : 市町村 → 発信先 : 県警
(コントローラー)

内 容 : 5合目以上への下山呼びかけ

【訓練】付与方法:紙

付与No.

県警

39

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・某市町村です。
- ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者など、5合目以上に滞在している人もいる。
- ・下山の呼びかけを行いたいが、県警ヘリで広報は可能か。
- ・航空隊にも同様の相談をしたいと考えている。

訓練のための補足情報

- ・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。
- ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。
- ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：14:05

発信元：議員秘書 → 発信先：統括班

(コントローラー)

内 容：国会議員からの問合せ

【訓練】付与方法：紙

付与No.

統括班40

噴火警戒レベル3

【照会】

国会議員Aの秘書から、噴火活動の状況と
県の体制について報告の求めあり。

訓練のための補足情報

- ・現時点の内容でコントローラーに回答（電話またはメモ提出）。
- ・今後の同様の問いに備え、議員用に提供する内容の整理、タイミングについても検討すること。

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻 : 14:10

発信元 : 市町村 → 発信先 : 広報班
(コントローラー)

内 容 : 県HPによる広報

【訓練】付与方法:紙

付与No.

広報班

41

噴火警戒レベル3

【依頼】

某市町村です。

- ・富士山の活動状況を広報するWEBページについて、県で開設してもらえるのか。
- ・このページのリンクは、市町村HPに貼り付けるなどして、住民等に広報したい。

訓練のための補足情報

- ・検討結果は市町村(全体)に周知すること。
- ・県公式HPだけでなく、その他の手段についても検討し、関係班と調整すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:10

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

県民相談班

42

噴火警戒レベル3

内 容 : 県民からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。
- ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

【問合せ】

北麓地域の住民です。「すぐに噴火するんですか」

現在時刻 : 14:15

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 業者 → 発信先 : 山中湖村
(コントローラー)

山中湖村

43

噴火警戒レベル3

内 容 : イベント事業者との調整

訓練のための補足情報

- ・中止要請の可否判断(レベル3段階における観光客避難の考え方に留意)
- ・参加者に対する情報の伝え方
- ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

【問合せ】

- ・きららの音楽イベントの主催者です。
- ・富士山の噴火に関する情報が出たと聞きました。
- ・中止の要請はありますか。
- ・参加者、関係者への情報提供等で留意点等がありますか。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:20

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

内 容 : 県民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

県民相談班

44

噴火警戒レベル3

【問合せ】

北麓地域の住民です。「山頂から噴火して
北麓全域に影響があるんですか？」

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・デマ情報の拡散防止にも留意（広報班にも情報共有し、対応を検討）。
- ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻：14:20

【訓練】付与方法：電話

付与No.

発信元：住民 → 発信先：富士河口湖町
(コントローラー)

富士河口湖町 45

噴火警戒レベル3

内容：酪農家からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・一時的な立ち入りの可否判断
- ・今後予想される類似の問い合わせに対する情報の伝え方
- ・家畜避難に関する調整先の確認。
- ・必ずしも明確な回答は求めない。今後の検討のためのヒントとする。
- ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

【問合せ】

- ・富士ヶ嶺地区(第1次避難対象エリア)の酪農家です。
- ・慌てて避難してしまったが、牛の様子を確認したい。
- ・どこに許可を取ればよいのか。
- ・すぐ近くだし、1時間で戻ってこれると思うので、見に行ってきたても良いか。

現在時刻 : 14:30

発信元 : 統括副部長 → 発信先 : 広報班
(コントローラー)

内 容 : 報道機関等の統制

【訓練】付与方法:紙

付与No.

広報班

46

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・レベル3の発表、今後の火山活動の高まりから、海外を含めたメディアの殺到が予想される。
- ・報道対応、統制について、検討されたい。

訓練のための補足情報

- ・世界的な知名度もあり、国内外からの多数メディアの殺到が予想される。
- ・現地の統制、情報発信をどのように行うか（派遣人員、対応場所等）検討する。

自由メモ欄 （記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻 : 14:30

発信元 : 市町村 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 福祉施設避難支援

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

47

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・某市町村です(回答はコントローラーへ)。
- ・管内の福祉施設の利用者の搬送支援は可能ですか。

訓練のための補足情報

- ・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。
- ・回答はコントローラーへ行う。
- ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。
- ・実施できない場合も、全体共有すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:45

発信元 : 市町村 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 在宅要支援者避難支援

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

48

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・某市町村です(回答はコントローラーへ)。
- ・管内の在宅の避難行動要支援者に対する支援はありますか。

訓練のための補足情報

- ・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。
- ・回答はコントローラーへ行う。
- ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。
- ・実施できない場合も、全体共有すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:23

発信元 : 統括副部長 → 発信先 : 広報班
(コントローラー)

内 容 : 知事メッセージの発信

【訓練】付与方法:紙

付与No.

広報班

49

噴火警戒レベル4

【指示】

- ・対策本部設置に伴い、知事メッセージの発信を検討したい。
- ・内容、発信手段の検討も行うこと。

訓練のための補足情報

- ・統括班との内容調整
- ・発信手段や手順等の確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:25

発信元 : 内閣府 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 政府の体制確認と受援体制の確立

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

統括班

50

噴火警戒レベル4

【依頼】

内閣府防災担当です。

- ・国では、火山災害現地警戒本部の設置に移行します。
- ・県の体制、会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。
- ・また、「合同会議」の場も必要になるため、設置について検討してもらいたい。

訓練のための補足情報

- ・受入場所の調整、確保(規模の確認)
- ・対応窓口の確認
- ・「合同会議」設置について、関係機関調整、開催場所等を検討。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:25

【訓練】付与方法:紙

付与No.

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

医療班

51

噴火警戒レベル4

内 容 : 保健医療救護対策本部の設置、体制確認

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

【問合せ】

- ・保健医療救護対策本部運営(搬送調整、拠点本部となる保健所の対応)、県災害対策本部との連絡調整について確認すること。
- ・活動拠点の設置状況、EMIS入力等による情報通信手段について確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

発信元 : 市町村 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 降灰による域外避難の打診

【訓練】付与方法:紙

付与No.

統括班

52

噴火警戒レベル4

【依頼】

- ・某市町村です(回答は進行管理者へ)。
- ・もし噴火したら短時間で降灰の影響を受けると予想されるため、市町村外に域外避難する調整を始めておきたい。避難先市町村を県に調整してもらいたい。

訓練のための補足情報

- ・噴火前の域外避難の必要性を検討。
- ・必要に応じて火山専門家に相談。
- ・問合せ先に対し、どのように対応を促すか(留意すべき事項がある場合、リスク等を示すこと)。
- ・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 市町村の情報収集②

【訓練】付与方法:紙

付与No.

情報班

53

噴火警戒レベル4

【指示】

市町村の情報を収集すること。

- ・市町村の体制
- ・避難情報発令状況、避難所開設情報
- ・県に対する要請、要望事項の確認

訓練のための補足情報

★★必要に応じて付与★★

- ・市町村の対応状況の共有と支援検討
- ・防災システムの活用
- ・情報収集方法の確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 → 発信先 : 西桂町
(コントローラー)

西桂町

54

噴火警戒レベル 4

内 容 : 住民からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・避難に関する情報の伝え方(同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか)
- ・回答は、コントローラーに15:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

【問合せ】

- ・桂川沿川の自治会長です。
- ・噴火前に避難した方がよいのではないか。
- ・避難所の開設時期はいつなのか。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 市立病院 → 発信先 : 富士五湖消防
(コントローラー)

富士五湖消防 55

噴火警戒レベル4

内 容 : 患者搬送のための避難車両手配要請

訓練のための補足情報

- ・搬送対応手順、調整先等の確認。
- ・回答はコントローラーに行う。
- ・関係機関に確認が必要な場合には、訓練の中で確認すること(県医務課、甲府消防等)。

【依頼】

- ・病院避難のため、患者搬送のための車両手配を要請したい。
- ・担架搬送が必要な患者を5名です。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:35

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 道路状況の確認

【訓練】付与方法:紙

付与No.

情報班

56

噴火警戒レベル4

【指示】

- ・道路通行可否、交通規制状況の確認と本部内での共有を行うこと。

訓練のための補足情報

- ・情報班は、本部において、各機関への照会窓口を担う。必要な情報を各機関から取得し、本部内に共有できるか。
- ・交通規制があった場合の迂回路の有無の確認。
- ・代替公共交通機関等の確認。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:40

発信元 : 応援機関 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 応援機関、研究者の受入

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

統括班

57

噴火警戒レベル4

【問合せ】

外部機関(研究者)から、協力の申し出があった。協定等には基づかないもの。県の本部に入りたいとのことであるが、対応について確認されたい。

訓練のための補足情報

- ・対応窓口の確認
- ・受け入れ先の調整、手配
- ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい。
- ・検討結果(回答)はコントローラーまで。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:40

発信元 : 市町村 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 医療器具等の手配

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

58

噴火警戒レベル4

【問合せ】

- ・某市町村です(回答はコントローラーへ)
- ・避難先における医薬品、医療機材の調達、医療従事者の派遣は可能ですか。

訓練のための補足情報

- ・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。
- ・要請に対する具体的な検討を実施すること(外部機関との調整、県本部内の調整、いつの時点でどれくらいの規模で調達・派遣できるか)。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づきなど

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)